

きらら西公園における Park-PFI 導入の検討に伴う実現可能調査 結果概要

参加申込受付期間 令和 6 年12 月 3 日(火)から令和 6 年12 月 27 日(金)午後 3 時

提案書受付期間 令和 6 年12 月 16 日(月)から令和 7 年1月 15 日(水)午後 5 時

対 話 実 施 期 間 令和7年1月21日(火)から令和7年1月30日(木)

参 加 事 業 者 2社

対 話 の 内 容

聞き取り項目	主な意見
公園全体の活用 (整備済範囲の活用含む)	・公園北西側のスポーツを楽しむゾーンで日帰りキャンプ場 ・第 1 駐車場近くでキッチンカーのベースを整備 ・ドッグランの施設を整備した際、既存の整備された施設も活用
家族で楽しめるゾーンの デイキャンプ場としての活用	・整備予定地では特別感がない ・公園からの景色がよくない ・隣接して野球場があるため、環境としてよくない
動物とのふれあいゾーンの ドッグランとしての活用	・ドッグランは有料では実施しにくいし、人の配置が必要 ・ドッグランは Park-PFI になじまない ・ドッグランを行う場合は登録が必要で手間がかかる ・受付にスタッフ2名は必要 ・敷地に監視カメラの設置 ・電源や水道設備の整備
立地条件	・市街地から離れていて集客が難しい ・処分場跡地で地盤が弱いいため建物が建てられない ・ドッグランの整備により一定の利用が見込める
採算性	・提案事業だけでは採算性は難しく、遊具施設から施設利用料を徴収する方法や遊具を貸出す方法もあるが採算性は見込めない ・提案事業の収益性からは Park-PFI は厳しい ・スタッフ分の人件費が賄えない
導入検討の可能性	・提案内容は、公園全体を指定管理で管理しながら自主事業で実施することがよい ・街中であれば Park-PFI の実施も検討できるが郊外の公園は難しい ・ドッグランの運営に関しては、既存のにぎわっている公園であっても Park-PFI としての実施では赤字となる